



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.15)

斉藤鉄夫環境大臣視察



東京PCB廃棄物処理施設について質問をされる環境大臣(中央)

平成20年8月20日に斉藤環境大臣が、スーパーエコタウンの視察の一環として、リサイクル施設とともに東京PCB廃棄物処理施設を訪問されました。

当日は当社社員から当処理施設の概要の説明を受けられた後に、高濃度PCB廃棄物処理施設を中心に見学されました。

その際に、PCBの分解技術や処理に当たっての安全対策など、多くの質問をいただき、環境大臣のPCB廃棄物処理への関心の高さが伺えました。

PCB廃棄物処理事業検討委員会東京事業部会と 東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会について

平成20年9月9日に東京事業部会（主査：永田勝也早稲田大学教授）を、10月21日に第16回環境安全委員会（委員長：中杉修身上智大学大学院教授）を開催しました。

東京PCB廃棄物処理施設の上半期(4～9月)の操業状況について、以下の報告を行いました。

- ①上半期のPCB廃棄物処理実績及び定期点検完了後は廃棄物処理が進められていること
- ②運転トラブルとして、洗浄液蒸留設備の脱水膜トラブルに伴う不合格液の発生、液体酸素供給ポンプトラブルによる水熱分解処理設備停止など
- ③排気・換気・排水及び敷地境界大気質等の測定結果
- ④労働災害の発生状況
- ⑤安全教育活動の実施状況
- ⑥ヒヤリハットの提出状況

各委員からは、トラブル発生により環境への影響の有無や安全教育の進め方等について質問や助言をいただきました。



ホテルイースト21東京で開催された環境安全委員会の様子

周辺環境測定結果について

東京都、江東区及び当社の3者で締結している「東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全性と環境保全の確保に関する協定書」に基づき、今年度の敷地境界大気測定を外部の測定機関に委託して5月8日及び8月1日に実施しました。

結果は以下の通りで、PCB及びダイオキシン類濃度については、大気環境基準値を下回る値となりました。今後とも定期的に測定を実施していくこととしています。

●PCB測定結果(敷地境界)

測定箇所	測定日	測定値	環境基準
南東端	5月8日	0.05 $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ 未満	0.5 $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ 以下
北西端		0.05 $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ 未満	
南東端	8月1日	0.05 $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ 未満	
北西端		0.05 $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ 未満	

●ダイオキシン類測定結果(敷地境界)

測定箇所	測定日	測定値	環境基準
南東端	5月8日	0.055pg-TEQ/ m^3	0.6pg-TEQ/ m^3 以下
北西端		0.060pg-TEQ/ m^3	
南東端	8月1日	0.023pg-TEQ/ m^3	
北西端		0.036pg-TEQ/ m^3	

【注】1, μg : マイクログラム(百万分の1g)、pg : ピコグラム(一兆分の1g)

TEQ : Toxicity Equivalency Quantity 毒性等価量の略称

2, PCBの環境基準は暫定基準値

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

平成20年7月～9月の処理実績は下記のとおりです。

高濃度・低濃度区分	廃棄物種類	7月～9月 処理台数	操業開始からの 処理累計
高濃度PCB廃棄物	トランス類	66台	286台
	コンデンサ類	515台	2,325台
	安定器	864個	約 11,800個
低濃度PCB廃棄物	柱上トランス絶縁油	532.3kl	3,578.6kl

* 高濃度PCB廃棄物については処理に着手した台数を処理台数としています。

* 連結コンデンサは内部に複数のコンデンサがあった場合も、1台としてカウントしています。

* 前号のコンデンサ類の処理累計に誤り（1,806 ⇒ 1,810）がありましたので修正しています。

また、上表に記載していませんが、最近ではドラム缶によるPCB油の搬入が増加しています。



搬入されたドラム缶を
クレーンで移動



作業員によるドラム缶の
荷下ろし



作業員によるドラム缶の点検状況

環境報告書2008を発行しました

平成19年4月1日～平成20年3月31日の当社の事業活動に係わる環境配慮の取組みを記述した『環境報告書2008』を発行いたしました。この報告書は「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づき作成していますが、環境保全に加え労働安全衛生、保安防災、地域等の取組みについても記載しています。

「環境報告書2008」はHPにも掲載をしております。アドレスは以下となっております。

<http://www.jesconet.co.jp/company/environment/index.html>

自衛消防隊の訓練と起震車による地震体験



東京PCB廃棄物処理施設は、火災・地震等の災害に対して強い施設として建設されています。しかし、災害が発生した際に迅速・的確に対応できるように、日ごろから災害や事故に対する訓練が必要であることはいうまでもありません。

この9月には防災週間に併せて、施設内で油が漏れ火災が起こる恐れがあることを想定した自衛消防隊による訓練を行いました。

また、起震車による阪神大震災規模の震度を体験し、改めて激しい揺れに見舞われる大きな地震時には思い通りの行動をとることの難しさを実感しました。



日本環境安全事業株式会社 東京事業所
〒135-0064 江東区青海二丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
Tel. 03-3599-6023

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>